

ゆずみだいのあ通信 第71号

社会福祉法人豊智福祉会 特別養護老人ホーム泉平ハイツ 発行者 小林 邦広
〒389-1105 長野県長野市豊野町豊野 2298-2 Tel 026-257-5180 Fax 026-257-5184



給水管改修工事は、給水、暖房用温水の供給に使用する給水管の取り替え工事ですが、中でも暖房用温水の給水管は温水の漏れなどがあり、

泉平ハイツ改修工事中



当施設は、平成2年4月の事業開始から29年が経過し、施設・設備の経年劣化による痛み、不具合が生じており、これまでも随時、小規模の修繕工事を行ってききましたが、特に痛みが著しい給水管及び屋根の改修工事を本年5月から実施しています。



一部のヒーターが使えず、エアコン等で暖房を行っていません。屋根改修については、平成25年に塗装工事を行いました。が、施工から6年が経過し、塗装膜が薄くなり、雨漏りも発生したため、今回は既存の屋根材を新しい屋根材で覆う屋根カバー工法による屋根葺替え工事を行っています。屋根カバー工法は、既存の屋根材の上に、下地材、防水シートを張り、その上に新しい屋根材（金属板）で覆うもので、耐久性は塗装より優れています。



この改修工事により、給水、給湯や暖房機能が向上するとともに、雨漏りの心配がなくなるなど、ご利用者の皆様に、より快適にご利用いただけるものと思います。



なお、新しい屋根材の色は、長年親しまれてきた既存の屋根材と同じ緑青色です。

工期は11月末を予定しており、ご利用者及びご家族には引き続きご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

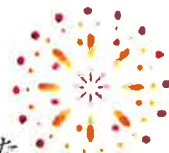
泉平ハイツ開所以来これほど大きな工事の経験がなく、ご利用者が精神的に不安定になってしまっているのではないかと、事故が起るのではないかと不安が過りました。

しかし、工事が始まると、関係者が施設内を歩き回り、廊下には養生シート、ところどころに地下に潜る穴、外を眺めれば大型の車両が行きかう：毎日が刺激の連続です。職人さん達もご利用者に気さくに接してくれ、お名前で話しかけてくれるので、あるご利用者は「私と結婚しよう」と話されたようで笑いを誘いました。

まだまだ工事は続きます。きつと終わるころには皆さん寂しくなるのではないのでしょうか。



豊野ヨイショコ祭り



8月4日、豊野ヨイショコまつりにご利用者2名・職員と参加しました。お昼休みに、豊野地区住民自治協議会からいただいたDVDを観ながら豊野音頭を練習し、気合い十分です。

今年のご利用者も一緒に手首に鈴をつけ、豊野音頭に合わせて踊りました。ご利用者は「昔踊ったけどこんなだったかねえ」と言いつつも、手はしっかり動き、また腕を動かすたびに鈴がシャンシャンと鳴り、気分も盛り上がります。参加されたご利用者は、いつにも増してにぎやかな雰囲気にも圧倒されながらも、うちわ片手に「お祭りに出られて良かった」と楽しまれました。

たくさんの方々と行き交いながら、顔なじみの方に手を振ったり、他の連の方と挨拶を交したりと、地域の皆様と交流をはかれる1日でした。

地域交流

今年ご利用者と職員の共同で小物づくりを行ったところ、あまりの素晴らしいのできばえに思っていたのが作品の販売でした。まずは7月19日の泉水祭。

次に8月4日とよのサマーフェスティバルへの出店にチャレンジです。豊野町のお祭りということもあり、大勢の人々が行きかう中、地域の方々がそれぞれ声をかけてくださいました。売り上げはそこそこでしたが、皆さんと交流できたことに感謝です。



これを機に地域への交流・貢献活動をより一層広げていきたいと思えます。また、豊野町商工会および長野法人会豊野部の皆様、出店へのご協力ありがとうございました。

そば打ち



7月6日、昨年に引き続き長野吉田高校戸隠分校そば部の皆さんが、そば打ちをしに来てくれました。今年は泉平組の皆さんにも声をかけ、普段あまり見ることのない学生によるそば打ちを間近で見ることができました。

昨年来られた時は、男性部員だけでしたが、今年は女性部員も活動しており、力強さの中にも、繊細さがあり、新鮮でした。

学生さん達は「1音棒・丸延ばし」という戸隠そば独特の技法で、生地を丸い台からはみ出すことなく少しずつ延ばしていく様子は、昨年に引き続き見事な腕前です。



創部から6年、そば打ちをしたいからと入学し、遠方から通学している学生もいると聞いて、熱いものを感じます。

地区の皆さんからはそばについての質問が多く出され、更科そば・二八そば・十割そば等の種類と特徴を知ることが出来ました。

更科そばは、実の一番芯の部分を挽いた粉を使うため、白く甘みがあり喉ごしが良く、高級なそばなのだそうです。逆に十割そばは、つなぎを使わず、そば粉100%で打つたものなので強い香りが特徴なのだそうです。

他にも赤そばはどういう特徴か?など泉平組の方と顧問の先生とのやりとりを聞いてうなずくばかりでした。

打ちたての麺は、天ぷらそばとしてお昼に食べました。地区の方々にも試食していただきましたが、いつも以上に噛みしめ、味わったおそばになったのではないのでしょうか。



敬老会

令和になり初めての敬老会が9月15日に行われました。今年近隣の泉平組、向原組の70才以上の方にも声を掛けさせていただきました。

祝賀式典では百寿3名、米寿5名の方々に理事長より賞状と記念品が手渡されました。舞台上上がる際には皆様緊張した面持ちでしたが、症状を受け取ると嬉しそうな笑みがこぼれていました。

お楽しみ会では、とよのキッズダンスの皆さんと歌手の松本晏子さんをお招きしました。とよのキッズダンスの皆さんは小学1年生から6年生の女子ダンスチームでキラキラとした衣装がとても可愛らしく、ご利用者の皆さんも目を細めて見ていました。長



野島の県歌「信濃の国」に合わせて踊るアルクマダンスでは会場の中から手拍子も飛び出し盛り上がりました。

松本さんの歌は、普段はシャンソンを歌っていらっしやるということで、しっかりととした歌声がホールに響き渡りました。「愛の賛歌」「マイウェイ」等、聞きなれた曲の他、「いのちの歌」はアカペラで披露され、思わず聴き入ってしまいました。

最後は、「丘の上の家族」泉平ハイツ物語」を上映し、泉平ハイツで行っている行事や日常生活の様子を音楽と共に鑑賞していただきました。ご参加された皆様のご長寿とご健康をお祈り申し上げます。

ニラせんべい



皆さんは「ニラせんべい」を作られたことはありませんか？長野県、特に北信地域で馴染みの深い郷土料理ですが、皆さんも1度や2度は作ったり食べたたりしたことがあるかと思えます。

今年は豊野町食生活改善推進協議会の方に来所していただいておやつ作りを計画しており、9月はニラせんべいを作りました。



ご利用者は口々に「昔はよく作って食べたよ」と、懐かしそうに昔の思い出話に花が咲きます。焼き始めると、良い香りがしてきて皆さん待ちきれない様子…。焼き加減に注意しながら、ついにニラせんべいの完成です。

やはり焼き立ては格別で味付けも絶妙でした。昔は嫌というほど作ったと言うご利用者や、今は中々食べる機会が減ってしまったご利用者も2枚・3枚とおかわりをする程、美味しく出来上がりしました。

今後は、さつまいもを使ったおやつや、こねつけ等を作る予定です。皆さん、期待していて下さいね。

バケツ田んぼ

泉平ハイツではご利用者と一緒に、様々な野菜作りをしてきました。

今年初の試みでお米作り挑戦。「今日は田植えをしますよ！」と声を掛けると、我先にと皆さん外へ出て腕まくり。アツという間に立派なバケツ田んぼの完成です。初めはあまり元気がなく、今にも倒れてしまいましたが、水が減ってくれば足したりと、元気に育つのを待ちました。徐々に穂が実り喜んでいました。徐々に穂が実り喜んでいました。鳥よけを忘れてしまったため、穂のほとんどをスズメに食べられてしまいました。来年は収穫できるようもう一度チャレンジです！これからも毎日感謝しながら美味しくご飯をいただきたいですね。



社交ダンス

7月31日、社交ダンスボランティア「杏友会」の方々が来所して下さいました。

昨年は反響がとて大きく、今年もまた見られる！とご利用者・職員共にとても楽しみにしていました。

昨年大流行した「U・S・A」の音楽に乗せ、トランプ大統領が現れると1曲目から会場は大盛り上がり！その後

も鮮やかな衣装を着た男女ペアのダンスが披露されましたが、背筋がピンと伸び、より一層軽やかに見えました。

そんな中、農作業着の姿で登場すると、ご利用者は大ウケ！会場は笑いに包まれましたが、キレのあるダンスには大きな拍手が起りました。

また、ダンスだけでなく、動物のぬいぐるみと一緒に手品も披露され、その見事さに「オオーツ」と歓声も上がり



ました。

最後は杏友会の皆さんと一緒に、ご利用者・職員もダンスに参加しました。ご利用者は車椅子に乗ったまま手を引いてもらい、上手にダンスを踊ることができました。

杏友会の方々には、今年も優雅なダンスと楽しいパフォーマンスで皆さんを笑顔にさせていただきました。

また、社交ダンスは姿勢も良くなり、健康促進にもなるそうです。皆さんも機会があれば一度体験してみたいかですか？



避難訓練



全国各地で地震による被害が発生しています。それを踏まえ、地震想定避難訓練を地元住民参加により9月28日(土)、隣接の水内荘において実施し、また泉平ハイツでは10月10日(木)、同様の地震想定避難訓練を行いました。

日中地震が発生し建物崩壊する恐れがあり、屋外への避難が必要とされる状況下でいかに安全にかつ迅速に誘導できるかを目的としました。



落下物からご利用者の頭をまもるため保護しながら全員を避難場所へ誘導します。毎年、改善しながら訓練を行っているため比較的スムーズに非難は完了しました。

今回消防署からの講評は、出入り口の戸が開かない可能性も考えられる。まずは避難場所としてどこが安全かを検討する必要があります。地震による建物の崩壊はガラスが割れる危険があるため、まずはガラスから離れたところに身を置く。等ということでした。

訓練を繰り返すことにより、各々がどんな状況でも的確に判断し、行動できるようになること、実践に活かせる訓練を行うことが大切だと感じました。



編集後記

このたびの台風19号により被害を受けられた地域の皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。

だんだんと日が短くなり、朝・晩めつきり冷え込むようになりました。通勤途中に見る木々も少しずつ色が変わり始め、もうこんな季節になったのだなど実感します。山ノ内町に住む祖父のお隣の家には立派な楓の木が一本あり、紅葉すると鮮やかで、私たち家族は毎年ひそかに楽しみにしています。ある年は葉が全くなく、枯れたようになつてしまいましたが、今年の夏はたくさん葉が茂っていたので、今年もあの紅葉した楓の木が見られそうです。終わってしまわないうちに祖父の元を訪れたいと思います。

